

第5次基本計画 現状と課題・施策展開項目（一覧表）

政策分野	目指すまちの姿	施策	現状と課題	施策の展開
子育て・教育・スポーツ	5 こどもたちが夢や希望をもって健やかに育っている	(1)地域で子育てを支援する環境づくりの推進	・こどもが地域社会と関わりながら成長できるよう、こどもの居場所づくりや様々な交流体験、学習活動の推進に取り組んでいます。こどもの集団経験の機会が減少する中で、こどもの視点に立った居場所の確保が求められています。	放課後児童対策の強化
				こどもの居場所づくりの推進
			・社会状況やライフスタイルの変化などにより、こどもや子育て家庭と地域社会のつながりが希薄になることが懸念されています。子育て家庭だけでなく、行政や関係機関、地域の人々、企業等が一体となって、社会全体でこどもや子育て家庭を支えていく意識を持つことが必要です。	地域で支える子育て環境づくりの推進
		(2)安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実	・少子化等に伴い子育て環境が変化する中で、安心して妊娠・出産し、生まれたこどもが健やかに育つためには、ライフステージに応じた切れ目なく家庭を支える母子保健と児童福祉サービスの充実や、分かりやすい情報の提供が求められています。	ライフステージに応じた切れ目のない支援の推進
				子育て情報提供サービスや相談体制の充実
			・生まれ育った環境によって左右されることなく、こども一人ひとりが未来に向けて夢や希望を持つことができるよう、支援が必要なこどもや家庭を守る取り組みが求められています。	こどもの生活の安定に資する支援の推進
		(3)幼児教育・保育サービスの充実	・核家族化の進行や女性の社会進出、社会環境の変化に伴い、働く保護者が増加しています。認定こども園・幼稚園・保育所等には、多様化する保護者のニーズに対応した教育・保育サービスの充実が求められています。	教育・保育サービスの充実・環境整備
			・認定こども園・幼稚園・保育所等では、きめ細やかな教育・保育を提供するとともに、教育・保育サービスの質の向上に取り組んでいます。将来にわたって質の高い教育・保育サービスを提供するため、幼児教育・保育を担う人材の確保が課題となっています。	教育・保育サービスの担い手確保と質の向上
		(4)教育活動・教育環境の充実	・社会の一員として自立して社会に貢献していくために、基礎基本の定着を徹底し、一人ひとりの学力や様々な能力等の伸長を図ることが重要です。 ・学校・家庭・関係機関が連携し、疾病や生活習慣病の予防に努めるとともに、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を学べるよう食育の推進を図るなど、健やかな心身の育成が必要です。 ・高岡市には、豊かな自然や独自の歴史と文化、優れたものづくりの伝統などがあります。未来を拓く児童生徒に、高岡のすばらしさを伝え、豊かな感性や高岡への愛着と誇りをもち、地域や我が国の発展に貢献しようという意識を育てることが大切です。	確かな学力・健やかな体・豊かな心をはぐくむ教育の推進
			・未来を切り拓く児童生徒の育成には、こどもたちの連続した成長を切れ目なく支援する教育環境を整備充実させることが重要であり、9年間を見通した教育活動のさらなる充実が必要です。	小中一貫教育の推進
			・グローバル化や生成AIの進展など変化が止まることのない時代に、こどもたちが様々な社会的変化を乗り越えていくためにどうすべきか、自ら考え、自ら学び、他者と協働しながら、課題を解決しようとする資質や能力、また外国語、特に英語によるコミュニケーション力が大切です。	「探究的な学び」の推進
			・情報化が急速に進行する現代では、こどもたち一人一人の情報活用能力をはぐくむとともに、より主体的・対話的で深い学びを実現するために、ICT教育環境の維持、充実を図ることが重要です。 併せて、安全・安心なクラウド環境の下、児童生徒のICTリテラシーの向上に向けて、継続的な取り組みを進めることが必要です。	ICT教育の充実
			・児童生徒数の推移や、学校施設の老朽化の状況を踏まえ、計画的な学校の再編統合や施設更新が求められています。学校の再編統合にあたっては、教育環境の充実のための施設整備や、新たな通学路の安全確保などへの対応が必要となっています。	教育環境の充実
	6 生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしている	(1)生涯学習の振興	・デジタル化の進展や少子高齢化及び人口減少による地域力の低下など、社会的課題が顕在化しています。地域住民が年齢や国籍を問わず、誰もが学び続けられる環境を整え、様々な社会的課題に対応できる幅広い学習内容や、地域の交流と生きがいつくりの推進が求められています。	地域における生涯学習の充実
			・いくつになっても学びたいという意欲の高まりとともに、生涯学習への機運も高まっています。こうした中、市民一人ひとりが、主体的に学び続けられる環境づくりが必要です。生涯学習を持続可能なものとするためにも、学習活動を支える人材の育成と確保が求められています。	生涯学習に関わる人材の育成
			・地域交流センター及び自治会公民館には、地域コミュニティの核として、福祉や防災等の拠点的な役割も果たすなど、幅広い役割・機能が求められています。	生涯学習施設の機能の充実
		(2)スポーツ・レクリエーション活動の充実	・本市においては18歳以上のスポーツの実施率が低い状況にあります。市民が年齢や体力、性別、障がい等を問わず、興味や関心、目的等に合ったスポーツ活動に参画できる環境づくりが求められています。	生涯スポーツの推進
			・心身の健やかな成長に重要な役割を果たすスポーツ・運動の推進のため、学校等でのスポーツ体験機会の充実に努めています。一方で、スポーツをすることを好まない児童生徒も多く、スポーツ・運動に親しむ機会を確保することが課題となっています。	次世代を担う子どものスポーツ・運動の推進
			・本市のスポーツ施設は、築後、長年経過している施設が多いことから、施設の再編や改修・修繕を検討・実施し、持続可能な管理運営を行っていく必要があります。また、新たなスポーツ・レクリエーションへの市民のニーズが高まってきていることから、そのニーズに対応したスポーツ環境の充実が求められています。	スポーツ環境の充実
		(3)地域社会と関わる活動の促進	・子どもたちがふるさと高岡に深い愛着と誇りをもち、また、社会の一員として地域に主体的に関わり、地域や我が国の未来を拓こうとする意欲を高めることが大切です。	まちづくりへの参画意識の醸成
			・若者が進学や就職を機に都市部へ転出（流出）する傾向があります。若年層を主なターゲットとし、地域団体や地元企業と連携し、地域に対する興味や関心を喚起する必要があります。	若者が地域で活躍できる場づくり
			・家庭環境の変容等により、こどもたちの自然的・文化的体験の機会の減少が懸念されていることから、豊かな体験を学べる地域づくりが求められおり、青少年の健全育成に携わる社会教育団体への継続的な支援が必要となっています。	地域ぐるみの青少年育成の推進
			・家庭や地域と共にある学校づくりに向けて、学校を取り巻く諸課題に対して、地域ぐるみで対応できる体制づくりが求められています。	地域ぐるみでの教育活動の推進
			・急激な少子化が進む中でも、将来にわたってこどもたちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実する必要があります。	学校部活動の地域展開
			・価値観の多様化やライフスタイルの変化により、人と人との直接関わり、交流する機会の減少が懸念されていることから、放課後や週末等において、地域交流センターや学校の余裕教室等を活用して全ての子供たちの安全・安心な活動場所を確保し、地域住民等の参画により学習や様々な体験・交流活動の機会の創出が求められています。	家庭・地域の教育力の充実

第5次基本計画 現状と課題・施策展開項目（一覧表）

政策分野	目指すまちの姿	施策	現状と課題	施策の展開
福祉・保健・医療	7 誰もが自分らしく暮らししている	(1)困難を抱える方々への支援	・多様な困難を抱える方々が、必要な支援に適切につながるよう、相談支援体制の充実や、多機関の連携による支援体制の構築に取り組んでいます。切れ目のない支援の実現に向けた支援体制の充実が必要です。	困りごとに応じた切れ目のない支援体制の構築
			・障がい福祉サービスの利用者は増加傾向にあり、障がいの重度化や本人及び家族の高齢化の進行に伴い、必要な支援は多様化しています。医療的ケア児など包括的な支援の必要性が高まる中で、支援体制の整備や専門人材の確保・育成が求められています。	包括的支援に対応できる人材の確保・育成
			・障がいの有無に関わらず、誰もが能力や特性に応じて社会参加できるよう、地域全体で支え合う共生社会の実現を図っています。社会生活における障壁を取り除くための合理的配慮の普及により、障がい者の社会参加を促進することが必要です。	障がいのある方への理解促進
		(2)こどもや子育て家庭への支援	・核家族化や地域との交流の希薄化・孤立、経済的困窮など、子育て家庭において困難を抱えるケースが顕在化しています。福祉・保健などの関係機関が連携し、支援が必要なこどもや子育て家庭へ包括的に切れ目なく対応する必要があります。	相談体制の強化
			・不登校児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒、外国人児童生徒が年々増加し、これらのこどもたちが抱える課題は複合化、複雑化の傾向にあり、総合的な支援が必要となっています。	総合的な支援の推進
			・いじめや不登校、ゲームやSNSへの依存など、社会性や心身の健康に関わる課題を抱える児童生徒が増加傾向にあります。基本的な生活習慣の定着やネットモラルの修得をはじめ、学校・家庭・関係団体が緊密に連携する対応が求められています。	
		(3)高齢者への支援	・急速な高齢化の進行によって介護等のサービス需要が更に増加・多様化することが想定される一方、担い手の減少が顕著となり、高齢者介護を支える人的基盤の確保が求められています。	地域包括ケアシステムの深化
			・要支援・要介護認定者数が年々増加しており、介護保険制度の継続的、安定的な運営を行うとともに、介護予防の充実が求められています。	介護サービス基盤の計画的な整備
				介護人材の確保と業務の効率化
			・市民、事業者、行政が連携し、地域の人々がお互いに協力し支え合いながら、高齢者が住み慣れたまちで、自分らしく安心して暮らせるまちづくりを進めることが重要となっています。	高齢者の健康づくり・介護予防施策と生きがい対策の推進
	8 すべての人が健康な生活を送っている	(1)地域で支える福祉の推進	・8050問題、生活困窮、孤立など複合的な課題による福祉ニーズが増大する中、高岡市では行政、NPO、民間団体、企業といった多様な主体が連携した支援体制を構築してきました。高齢化の進行や福祉ニーズの多様化にも対応できるよう、支援体制のさらなる強化、支援ネットワークの拡充に取組む必要があります。	重層的支援体制の強化
			・一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加などにより、地域の助け合いや、家族内での看護・介護といった支え合いの機能が低下し、支援を必要とする世帯が増加しています。加えて、8050問題、生活困窮、孤立といった、従来の制度では対応が困難な複合的課題による福祉ニーズに対応するための包括的な支援が求められています。	地域で支えあう体制の強化
			・包括的な支援が必要とされる中、支援の基礎となる地域力を高めるために、住民一人ひとりが「我が事」として課題に向き合う意識醸成が重要となっています。そのため、住民の「互助」やNPO等による「共助」の力を最大限に引き出すとともに、これらを行政や専門機関による「公助」が支える体制の強化が求められています。	地域福祉の意識醸成
		(2)持続可能な地域医療体制の構築	・人口減少や高齢化の急速な進展による医療ニーズの変化、そして医療従事者不足の深刻化といった複合的な課題により、安定した医療提供が難しくなってきました。救急医療などの地域に不可欠な医療を将来にわたり安定的に提供するためには、地域全体で医療を支え合う体制づくりが必要です。	地域医療体制の維持・確保
			・高岡市民病院は、救急医療をはじめ、精神・感染症・災害医療といった政策的医療を担っており、引き続き公立病院でなければできない役割を果たしながら、地域医療をとりまく変化に対応し、将来にわたって安定的に医療を提供していく必要があります。	高岡市民病院の医療提供体制の充実
			・市民が安心して医療を受けることができるよう、国民健康保険の健全運営に努めています。少子高齢化や経済情勢の変化に対応し、将来にわたり持続可能な医療保険制度の運営が求められています。	国民健康保険等の健全運営
		(3)健康づくりの推進	・朝食の欠食や、野菜の摂取不足、運動不足等、生活習慣上の課題がみられています。生活習慣の基礎を身につけ、望ましい生活習慣を確立していくためには、小児期から生涯を通じた健康づくり(ライフコースアプローチ)に取り組むことが重要です。	生涯を通じた健康づくりの推進
			・三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）による死亡者は死亡者全体の約半数を占めています。これらの疾病の罹患リスクの低減や早期発見、重症化予防のため、検診・健診の受診勧奨や早い段階からの保健指導の実施が必要です。	
			・少子高齢化や高齢者の働き方の変化により、地域で健康づくりに取り組むボランティアの担い手が不足しています。健康づくりボランティアの活動支援を図るとともに、他の地域団体や民間企業等とも連携し、社会全体で健康づくりに取り組む仕組みづくりが必要です。	地域ぐるみの健康づくりの推進
			・国際的な人の往来の活発化に伴い、感染症が世界的に広まるリスクが高まっています。今後も、既知の感染症への予防対策に取組むとともに、新たな感染症の発生・流行に備えることが必要です。	感染症予防対策の推進